

「安全で安心して暮らせる秋田県」の実現を目指して取り組んでいます。

会員数(R2.5.25 現在)

・正会員	22 会員	(法人会員:16 社、個人会員:6 名)
・賛助会員	0 会員	
・特別会員	1 会員	((公社)日本防犯設備協会)

○新年度を迎えて

会員の皆さまにおかれましては新型コロナウイルスの影響に伴う書面決議による定時総会の開催につきまして深いご理解をいただきましたことに心から御礼申し上げます。会員の皆さまのご協力のお陰をもちまして滞りなく全ての議案の承認を得ることができました。

設立から4年目を迎える今期は混沌とした状況

でのスタートとなりましたが、着実な当会の歩みを進めるために「安全・安心のまちづくり」を目指した当協会活動の発信に努めて参ります。今期におきましても当協会運営に対しましてのご参画をお願い申し上げますとともに、一日も早いコロナ禍の終息と会員の皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

会長 小畑 宏介

令和2年度定時総会（書面表決）開催報告

『秋田県防犯設備協会 令和2年度定時総会』は新型コロナウイルス感染及び蔓延防止のため、会合での開催を中止とし、書面表決書にて実施いたしました。

令和2年4月23日（木）を締切としてご提出いただきました書面表決書について議決結果を下記のとおりご報告いたします。

ご協力いただきまして有難うございました。

記

秋田県防犯設備協会『令和2年度定時総会』議決結果

1. 提出者 会員22人中21人提出
2. 議事

第1号議案	令和元年度 事業報告	賛成21 反対0
第2号議案	令和元年度 収支決算報告	賛成21 反対0
第3号議案	令和2年度 事業計画（案）	賛成21 反対0
第4号議案	令和2年度 収支予算（案）	賛成21 反対0
第5号議案	役員改選（案）	賛成21 反対0
3. 結果

すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。
4. ご意見等
 - ・全ての会員にとってもっと行動的で良い方向に向かえる協会であってほしい。
 - ・今年度も広告協賛をお願いしたい。

以上

参考資料
紹介

(公社)日本防犯設備協会 HP より下記資料がダウンロードできます。資格取得の検討、会員入会の促進などに是非ご活用ください。

○防犯設備士パンフレット

https://www.ssaj.or.jp/security_officer/pdf/security_officer.pdf

○総合防犯設備士パンフレット

https://www.ssaj.or.jp/security_officer_sogo/pdf/security_officer_sogo.pdf

●『第111回防犯設備士養成講習・資格認定試験』開催日程

開催日程	9月11日(金) ～9月12日(土)	
会場	東京	ベルサール西新宿
	大阪	大阪アカデミア
	仙台	フォレスト仙台
募集期間	6月22日(月) ～7月24日(金)	

●『2020年度総合防犯設備士受験セミナー・資格認定試験』開催日程

A 筆記試験

一次試験	10月10日(土) 東京・大阪
二次試験	12月5日(土) 大阪 12月12日(土) 東京
募集期間	7月1日(水) ～9月18日(金)

B 講習認定

一次試験 二次試験	11月7日(土) 東京
書類審査 申請書類の 受付期間	6月1日(月) ～6月30日(火)
一次試験 受験申請の 受付期間	7月18日(土) ※ ～9月6日(日) 書類審査 合格者

受験セミナー (全て土曜日開催)

開催 日程	7月11日: 東京	※B講習認定を 受験する場合は セミナーの受講 が必須です。
	7月18日: 大阪	
	8月22日: 東京	
	8月29日: 大阪	

- * 受験の際は事務局までご連絡ください。
- * 日程は変更となる可能性があります。

『ウイルス対策における正しいエレベーターの乗り方』

エレベーター内は新型コロナウイルスの感染予防のため避けるべき密閉・密集・密接の3密状態と言える空間です。

実際に他の県の飲食店ビルでは複数の店から感染者が確認され、エレベーター内で感染が拡大した可能性が指摘されています。

エレベーターに乗るときは、普段の予防法と同じくマスクを着用し、密接した会話は避け、大人数で密集とならない事が重要です。

最近ではエレベーター内の換気扇を動かすようお願い

されることがありますが、省エネのため待機中は停止し、換気する空気も外気ではなく塔内のため、換気扇が動作しているから換気が十分と過信することは禁物です。

また、エレベーターのボタンを手で直接押さないよう綿棒等を備え付ける話もありますが、最終的にはこまめに手洗いをし、口や鼻への接触感染防止が大事かと思われます。

楽しく飲食して笑顔でエレベーターに乗るために、一人一人が予防に努めましょう。

事務局随想

●新型コロナウイルス禍が問いかける「高齢者の安全安心」の構築に果たす協会の役割とは

中国武漢での発症に端を発した新型コロナウイルスは世界中に蔓延し、国内の高齢者関連施設ではいわゆるクラスター（集団感染）が発生し、高齢者や関係者は施設への入所・通院を控えたり、他の医療施設への転院を拒否されたりする事態まで起きている。

また、高齢者は感染すると重症化し、死亡する確率が高いとか、新型コロナウイルスは、年齢が高いほど、のどからウイルスを多く出し、人に感染させやすい傾向があるなどの情報が流布し、高齢者にとっては、ただの風邪や持病での通院にも必要以上に気を使う状況になっている。

抵抗力が低下している高齢者にとって、そのようなストレスが健康に良い訳がなく、在宅診療ができればこれに越したことはないと考えている高齢者も多いのではないだろうか。

そんな中、今回のコロナウイルス禍でクローズアップされてきているのが、医師がネットやメールでデータを送ってもらい、テレビ電話の映像などを見ながら在宅の患者を診察するオンライン診療システムである。この診療システムが普及すれば、通院手段が限られて

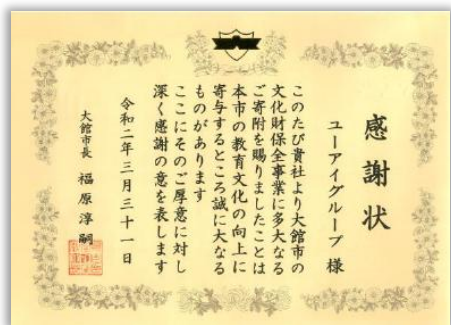
いる高齢者世帯や過疎地の世帯にとっては大変な朗報になると思われる。

防犯設備協会はその設立趣旨の中で、「優良な防犯機器、防犯システム、防犯性能の高い部品等の普及（中略）を通じて地域の防犯に貢献する（以下略）」ことを謳っている。

しかし、「防犯」が生命身体財産の安全・安心に貢献する活動の一環であるとすれば、その活動は何も機器や設備の設置に限る必要はない。むしろ、防犯設備が果たす役割についての教育・思想の普及を通じて社会的弱者である高齢者の安全・安心のための環境整備に寄与することも防犯設備協会の重要な役割の一つではないだろうか。終息しないコロナウイルス禍の中、延年続くホームステイで日々そのことを考える毎日である。

秋田県の防犯設備普及に関する会員の皆様からのご意見等をお待ちしております。市場はそこから広がって行きます。

【資料：ユーアイ・プレス第400号より】



ユーアイグループは、大館商工会議所、大館北秋商工会、大館警察署の三者が地域の安全性向上を目指して取り組んでいる「安全で安心な大館市のまちづくり」の趣旨に賛同し、社会貢献活動の一環として、防犯カメラ・レコーダー・モニター一式・設置調整費一式を含むを大館市に寄贈することにした。

3月31日、小畑代表始め友愛ビルサービス東北支店の播磨美弘支店長、ユーアイ警備保障東北支店の前川喜世彦支店長、アドバイザとして大館能代空港港防事務所の渡部明所長が同行して大館市役所を訪ね、贈呈式を行った。

大館市からは福原淳嗣市長、名村伸一副市長、大館郷土博物館の長崎美幸館長（教員委員会歴史文化課長）らが出席。小畑代表から福原市長に目録を手渡した。防犯カメラは、大館郷土博物館に設置される予定。

福原市長は「大館市の文化財保全事業にご寄付をいただき、教育文化の向上に大いに寄与する」として小畑代表に感謝状を贈った。これに対して小畑代表は「小畑勇二郎記念館の設立から維持管理など大館市には本当に感謝している。市内の小中学校の『見守りカメラ設置事業』などにも協賛しており、大館市をモデルにした安全で安心なまちづくりを他の市町村にも広げていきたい」と述べた。

□高性能防犯カメラ一式を大館市に寄贈
「安全で安心な大館市のまちづくり」の取り組みを支援 (Y社)